

Photo/Ken TAKAYANAGI Text/Atsushi TAMADA



モーターフリークの 新たな基地となる GLBのニューバージョン

1F

1Fのガレージスペースは、壁面を従来の白色からダークグリーンにイメージチェンジ。これによってさらに“無骨さ”を増幅しました。適度にあしらったインナーグリーンや、愛着のギア類とも共鳴して、まるで愛機と会話できるような空間です。朝、この場所から出撃する。夜、友とここでグラスを傾け、ツーリングの計画を練る。デイトナハウスが提案する豊かなモーターライフのイメージがここにあります。



ガレージスペースは、クルマ1台、バイク2台が充分格納可能なスペース。ガルバリウム鋼の壁面や鉄骨フレームには磁石が付くためその空間を用いた変幻自在なディスプレイも可能です。



デイトナハウスのオリジナル棚金物「FASブラケット」がその真価を発揮するガレージ空間。これは構造体にブラケットを付ける事で、ディスプレイが楽しめるラックになってしまうスグレモノ。他にもこの建物では骨格が露き出しとなっているため、骨格自体に小物を「置いたり」、「ぶら下げたり」して、空間を楽しく友好的に活用することが可能です。

脱出し鉄骨の梁がメリハリを作り出す吹き抜けの空間が、GLB 2階部分の特長です。ここはまさに冒険心にあふれた人生観を持つ男のための場所。梁上にはスキーやカヌーといった大きめのギアも格納可能です。この部屋にはベッドは不要。是非ともロフト空間にマットレスを敷いて眠ってください。



2F 鉄骨の吹き抜け空間を 独り占めにする居住スペース



ツヤ消し鉄骨の梁がメリハリを作り出す吹き抜けの空間が、GLB 2階部分の最大の特長です。ここはまさに冒険心に溢れた人生観を持つ男のための場所。梁上にはスキーやカヌーといった大きめのギアも格納可能です。リビングスペースにベッドを置くのではなく、ロフト空間にあえてシンプルなマットレスなどを敷いて眠るのがオススメです。



予てより建築していたデイトナハウス仕様の鉄骨ガレージアパート「GLB」。その名も「BLACK HANGAR 2315」(以下BH2315)がこのほどめでたく竣工しました。世田谷ベール増築でもすっかりお馴染みになった、米軍ご用達のR形状金属屋根「Rスパン」を頭に載せて、周辺のマスコットの建物として鎮座しています。

既に苦小牧、浜松と実例を積み重ねてきたGLBですが、BH2315では内部の壁を従来の白色からダークグリーンに統一。これによってツヤ消し鉄骨フレームと壁面のグリーンがグラデーションを生み出し、ガレージや室内空間をよりハードボイルドな印象に仕上げています。また、建物の顔となるファサードには、大開口ガラスウォールを採用。デイトナハウスオリジナルのスチー

ルサッシが持つシャープなラインが、インダストリアル感満点のモダンデザインを強調します。

今回、東京の物件ということで、ユーザーさんはもちろんのこと、建築を検討されているオーナーさんにも実体験できるよう、この写真の場所を常設ショールームとして設定しています。デイトナの連載でお馴染みのR1150GSカスタムや、オリジナルの棚金物「FASブラケット」にディスプレイされたギア類など、愛着の品々が醸し出す、豊かなモーターライフのイメージがリアルに体感できるスペースです。また多くのデイトナハウスオリジナルの分解式らせん階段「ダイナソーポーン」にも触れることができますので、その秀逸な素材感を体験してみてください。詳しくはデイトナハウスのWEBサイトをご覧ください。

デイトナ不動産



BLACK HANGAR 2315

足立区にガレージアパート「GLB」の 常設ショールームが遂に登場!

先ごろ完全竣工した、東京都足立区のガレージアパート「BLACK HANGAR 2315」内に、室内のイメージがいつでも見れる、常設のショールームがオープンしました。その全貌をご紹介します。

